

令和 7 年度

(令和 7 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日まで)

事業報告

公益財団法人 新日本先進医療研究財団

第 1 事業の状況

今年度の事業は、がん及び生活習慣病に関する先進医療研究分野に関する研究者及び研究機関に対して助成金を贈呈する為、令和 7 年度第 11 回助成金応募を 7 月より行い、同年 12 月に 30 名の受賞者を決定した。なお、今年度は「がん」に関する研究、助成金額を 1 件あたり 100 万円～200 万円、30 名、総額 4000 万円の助成を決定した。

また、昨年度より当財団の研究助成事業により助成を受けた研究について、学術的に評価された研究実績を上げた研究者及び研究機関を表彰し褒賞金を贈呈する褒賞事業を開始した。本年度は、2015 年～2019 年度助成金採択者を対象に優秀研究者賞 13 名（褒賞金 20 万円）最優秀研究者賞 2 名（褒賞金 50 万円）を選出し贈呈した。

第 2 事業の成果

1. 助成金の交付

がん及び生活習慣病に関する先進医療分野の研究者及び研究機関に対し、研究助成金を交付。

(1) 助成対象

がん及び生活習慣病に関する先進的な研究の、国内において従事する研究者または研究機関が行う研究で、その成果ががん及び生活習慣病研究の進歩、発展に著しく貢献すると考えられるもの。

なお、本年令和 7 年度は「がん」に関する研究に限定した。

(2) 助成金額

1 件あたり 100～200 万円を上限として支給

(3) 令和7年度助成金受賞者

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 令和7年度(第11回)研究助成金受賞者

【がん関連研究】

氏名	所属機関	研究題目
足立 俊一	九州大学大学院医学研究院 幹細胞再生修復医学分野	クローン性造血に対する POT1 を用いた新規治療戦略の探究
嬉野 博志	佐賀大学医学部・創薬科学共同研究講座	メトホルミンと新規経口 DNA メチル化阻害剤を用いたベネトクラクス耐性 AML に対する新規治療法の開発
遠藤 智史	岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科	オートファジー脆弱性を標的とした Xp11.2 転座腎細胞癌の新規治療基盤
小川 昂輝	名古屋市立大学 大学院薬学研究科・薬物送達学分野	磁気応答型-経鼻投与デリバリーをグリオーマ治療に応用するための脳内 PK-PD 解析
鍛代 悠一	北海道大学 大学院薬学研究院 衛生化学研究室	腫瘍血管内皮細胞を標的とした新規抗がんペプチドの抗腫瘍効果の評価
迫田 哲平	九州大学病院 遺伝子細胞療法部 / 血液・腫瘍・心血管内科	CRHBP を標的とした寛解期急性骨髄性白血病幹細胞治療抵抗性の克服に向けた分子基盤の解明
関原 和正	宮崎大学医学部薬理学	超音波感応性酸素ナノバブルによる酸素環境制御と放射線治療効果の向上
仙波 雄一郎	九州大学大学院医学研究院プレシジョン医療学	難治性白血病における Histone Locus Body の制御メカニズム解明と新規治療法の探索
高橋 宏幸	福岡大学病院消化器外科学講座	TNF/TNFR2 シグナルの大腸癌肝転移におけるリンパ行性転移への関与とその制御

田ノ上 絢郎	九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科	ヒト腫瘍の3次リンパ組織における腫瘍抗原特異的免疫応答の解明
田平 優貴	宮崎大学医学部附属病院・血液内科	骨髄増殖性腫瘍治療薬のシグナル伝達経路および耐性機構の解明
田村 公二	九州大学 臨床・腫瘍外科	空間トランスクリプトーム技術 (Xenium) を用いた家族性大腸腺腫症における腫瘍微小環境の空間的変動解析と新規治療標的の創出
土橋 賢司	九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科	難治性肉腫の融合タンパクをコアとした生体分子凝集体の解明と標的治療の開発
道津 洋介	長崎大学病院 第二内科 (呼吸器内科)	CRISPR スクリーニングを用いた小細胞肺癌に対する DNA 修復機構阻害薬の抗腫瘍効果向上を目指した新規治療法の探索
中尾 文彦	国立病院機構九州医療センター 血液内科	BCL2 ファミリーによるアポトーシス制御機構の解明
中岡 博史	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・データサイエンス分野	子宮内膜症関連卵巣がんの起源となる field cancerization
鍋島 央	九州大学病院 整形外科	進行骨肉腫に対する低毒性化 TLR4 アゴニストと免疫チェックポイント阻害薬の併用による新規腫瘍免疫療法の開発
二宮 利文	九州大学病院・がんセンター	マクロファージを介した三次リンパ様構造の制御と臨床的意義の解明
原田 哲仁	九州大学大学院 医学研究院 先端医療医学部門 マルチオミクス解析分野	シングルセル・マルチエピゲノミクスによるがん細胞 EMT 多様性とクロマチン動態の解明 — 予後予測応用への基盤構築 —
原武 直紀	大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座	MUC1-C 阻害による KRAS 変異陽性非小細胞肺癌の治療抵抗性克服と免疫感受性向上に関する研究
平瀬 雄規	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・消化器外科学	オステオサルコペニアの予防は消化器癌治療成績を改善できるのか? ~医療資源の有効活用に向けた、栄養改善・リハビリ介入が必要な患者選定システムの構築~

藤井 健	九州大学 生体防御医学研究所	異なるゲノム背景に由来するがん検体の比較解析を実現する手法の開発
札幌 博貴	大分大学医学部脳神経外科学講座	ウイルス療法と DNA 損傷応答阻害による髄膜腫幹細胞を標的とした新規治療戦略の開発
堀口 晴紀	熊本大学大学院生命科学研究部	がん免疫応答を駆動する多細胞ネットワークの動的変容機構の解明
増田 孝充	量子科学技術研究開発機構 量子医学研究所 物理工学部	ヘリウム線併用マルチイオン治療法を実現する正常組織障害予測プラットフォームの開発
松本 一秀	九州大学病院肝臓・膵臓・胆道内科	患者由来オルガノイド×薬剤スクリーニングによるサブタイプに層別化された膵癌治療開発
三浦 恭子	九州大学 大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門 長寿幹細胞医学分野	最長寿齧歯類ハダカデバネズミの発がん耐性メカニズムの解明
宮川 和晃	(地独)大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 研究所 骨発育疾患研究部門	口腔癌の骨病変ニッチにおける T 細胞依存性の破骨細胞形成機序の解明
矢崎 亮	九州大学・高等研究院	非天然アミノ酸を導入した中分子ペプチドによる抗がん剤開発
山口 享子	九州大学大学院 医学研究院 医学教育学講座	HER2 変異による抗 HER2 抗体薬物複合体の内在化経路の変容と個別化治療戦略への展開

2. 研究者への褒賞

(1) 褒賞概要

当財団の研究助成事業により助成を受けた研究について、学術的に評価された研究実績を上げた研究者及び研究機関を表彰し褒賞金を贈呈する。当財団の研究助成による研究を終了した研究者で研究報告書を当財団に提出済みである研究者に対し公募し選考委員会を経て理事会にて決定する。

(2) 第1回 優秀研究者賞

最優秀研究者賞 受賞者(褒賞 50万円)

氏名	所属	研究テーマ
幣 光太郎	宮崎大学医学部 内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野	Calreticulinが関わる造血シグナル伝達機構、およびその破綻による骨髄増殖性腫瘍発症機序の解明
塚本 博丈	京都大学大学院附属 がん免疫総合研究センター・がん免疫治療臨床免疫学部門	PD-1 阻害療法による免疫関連有害事象の発症メカニズムの解明と、がん免疫療法への応用

優秀研究者賞 受賞者(褒賞 20万円)

氏名	所属	研究テーマ
石本 崇胤	公益財団法人がん研究会 がん研究所 発がん研究部	網羅的メタボローム解析に基づいた膀胱がん診断的バイオマーカーの探索研究
市川 朝永	埼玉医科大学 微生物学	成人 T 細胞白血病の新規治療標的分子の同定および機能解析
宇都 倫史	宮崎大学医学部医学科・感染症学講座免疫学分野	新規免疫チェックポイント分子 Clec4A4 によるがん免疫制御機構の解明
大口 裕人	熊本大学 大学院先導機構/生命資源研究・支援センター併任	多発性骨髄細胞増殖に関わるヒストン修飾制御機構の解明と新規治療法の開発
川上 茂	長崎大学大学院・医歯薬学総合研究科・医薬品情報学分野	脳腫瘍治療を目的とした外部刺激制御型脳内薬物送達システムの開発
塩田 真己	九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野	ゲノムワイドSNPアレイによる転移性前立腺癌治療の個別化医療の確立と最適化
杉町 圭史	国立病院機構九州がんセンター 肝胆膵外科	網羅的遺伝子異常解析と数理的シミュレーションにもとづく大腸癌肝転移に対する肝切除前化学療法でのprecision medicine構築

鈴木 淳史	九州大学・生体防御医学研究所 器官発生再生学分野	細胞分化形質の再獲得によるがん細胞の未分化性・幹細胞性の消失誘導
仲田 興平	九州大学病院 光学医療診療部	隣星細胞内のオートファジーに着目したドラグリボジショニングおよび新規膀胱治療薬の開発
藤井 慎介	九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座・口腔病理学分野	Wnt シグナル下流癌抑制遺伝子を分子標的とした新規唾液腺腫瘍治療法の開発
森嶋 達也	熊本大学国際先端医学研究機構	既存治療耐性クローン根絶を志向したIDH変異白血病新規治療法の開発
安河内 友世	九州大学 大学院歯学研究院 OBT研究センター	胎生期栄養環境によるエピゲノム制御とがん発症素因形成の分子基盤の解明
吉野 裕史	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座 泌尿器科学分野	癌代謝リプログラミングによる腎癌治療抵抗性獲得機序の解明と克服

第2回優秀研究者賞

(3) 表彰内容

新日本先進医療研究財団 優秀研究者賞…賞状、副賞（20万円）：5件程度

新日本先進医療研究財団 最優秀研究者賞…賞状、副賞（50万円）

(4) 応募資格

- ① 令和2年度助成金採択者で当財団の研究助成による研究を終了した研究者。
- ② 研究報告書を当財団に提出済みである研究者。
- ③ 当財団の助成による研究成果報告書と関係の深い対外発表で、次の条件を満たす論文発表であること。
 - 1.査読論文であること。（応募時点で査読が完了し論文誌への掲載が決定していれば、発刊前でも可。筆頭著者でない場合は、共著者として明記されていれば可。）
 - 2.論文に当財団の助成を受けたことが明記されていること。

公募期間：令和7年11月1日～11月30日

受賞決定：令和8年3月頃（予定）